

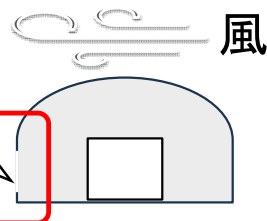
稲作情報 第2号

令和7年4月11日
射水市農業技術者協議会

1. 育苗管理（硬化期）

温度	昼 25℃以下、夜 10℃以上 田植7日前からは夜間も換気
かん水	原則朝に十分な量を散布 床土の乾き具合に応じて適宜実施

ハウスの風
下側の裾を
上げて換気



2. 苗箱施薬（JAからの購入苗は、施用済み）

薬剤名	施用量※1	施用時期
ブーンレパード箱粒剤	50 g/箱	播種時覆土前～移植当日

※1 密苗の場合は1 kg/10a となるように、50～100g/箱で調整する。



3. 田植準備

(1) 代かき作業

- 代かきから田植えまでの日数は、5日以内を目安とする。
- 代かき時は、水量を少なめにして、稲ワラや雑草を確実にすき込む。

(2) 基肥（水稻あとの場合）

<てんたかく>

肥料名	土壌区分	施肥量※2
Jコート早生専用	粘質土	30～35kg/10a
	壤質・砂質土	32～37kg/10a

※2

大豆・野菜あとは 35%減
大麦あとは 25%減

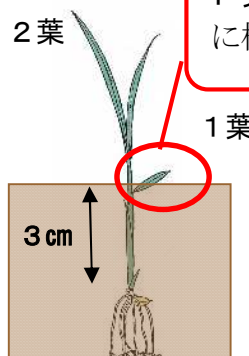
<コシヒカリ>

肥料名	土壌区分	施肥量
Jコート コシヒカリ2号	粘質土	28kg/10a
	壤質・砂質土	28～30kg/10a

4. 田植

栽植密度	70 株/坪
植付深さ	3 cm程度
植付本数	(慣行苗) 3～4 本/株 (密 苗) 5～6 本/株

- 田植え直後は水深4～5cmで植え痛み防止。
- 活着後は速やかに浅水管理とし、分げつ発生を促す。



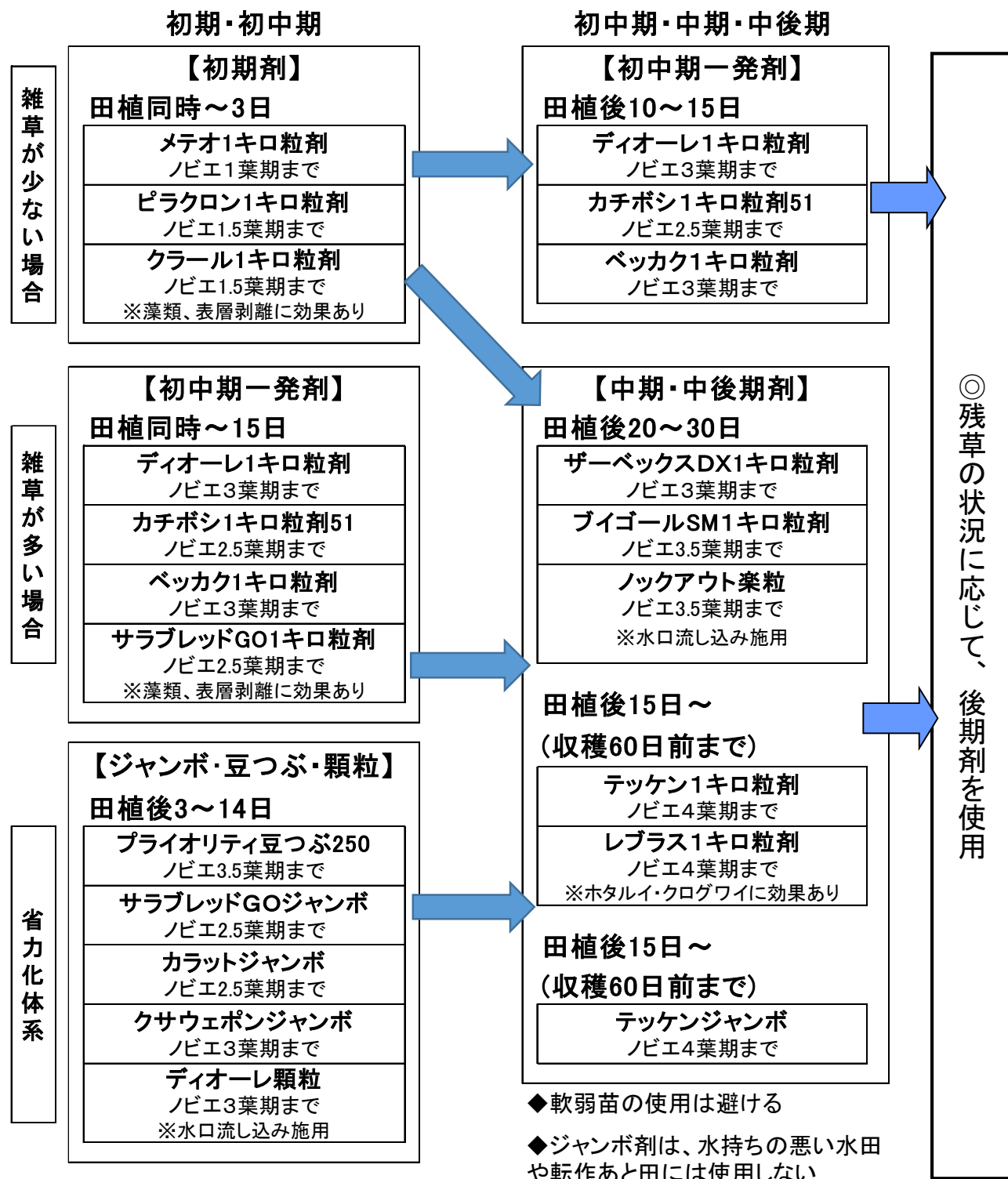
1 葉が見える程度
に植え付ける

正しい植付姿勢
とその後の浅水管理
で初期生育を確保！

5. 除草剤散布

- ・高温になると雑草の発生や生育が早まるため、除草剤は登録期間内の早めの時期に散布する。
- ・散布後5日間は5cm程度の湛水状態を保ち、落水やかけ流しをしない。

<除草体系例>



3/1～5/31 春の農作業安全運動 実施中

【お問い合わせ先】

JA いみず野営農指導課 TEL:52-6805 高岡農林振興センター射水班 TEL:26-8478

JA いみず野ホームページ <http://www.ja-imizuno.or.jp>